

スリランカ南西海岸

[コロンボ～タンガッラ]

直行便3時間45分



1) 世界遺産にも指定されているゴール旧市街はアラブ、ポルトガル、オランダ、イギリスと海のシルクロードの船乗り達が行き交った国際港。歴史ある町並みをゆっくり散策するには1泊するとよい。2) コスコダの海亀保護センターでは孵化したばかりのウミガメが観察できる産卵シーズンの11月～5月には日没後にウミガメを海へリリースする体験も実施されている。3) スマトラ沖地(2004年12月26日)ではスリランカ南部でも3万6千人もの命が津波によって奪われた。最も被害の多いヒッカドゥア郊外に高さ18.5mの仏像が日本の本願寺財団によって建立されている。



4) タンガッラの静かな入江に高級リゾート「アナンタラ・ピース・ヘブン・タンガッラ」が今年2016年にオープン。5) ウダワラウェ国立公園はアナンタラ・タンガッラから車で約2時間。半日サファリに最適な国立公園。6) トロピカル建築の第一人者「ジェフリー・パワ」が建築家になるきっかけとなった別荘「ルヌガンガ」。ベントタ郊外の閑静な村に佇み一般公開されている。7)&8) アナンタラ・タンガッラではリゾートにシマリスや孔雀がやってくる。9) 南部海岸のミリスサでは12月～3月にかけてホエールウォッチングが観光の見所の一つとなっている。

南西海岸の自然と 海のシルクロードの街

コロンボから南の海岸伝いは海のシルクロードを彷彿とさせる異国情緒漂う魅力的な街が多い。

かつて香辛料の出荷港として栄えたカルタラ、9世紀に宝石を求めやって来たアラブ人が拓いた港町ベルワラ、そして世界遺産にも登録されているゴールは、各時代の海の覇者の文化が幾層にも塗り重ねられ、独特の景観と雰囲気を生み出している。

これらの歴史ある街をつなぐように黄金海岸が続きベントタ、アルトゥガマ、ヒッカドゥア等のビーチリゾートが点在する。

トロピカル建築というスタイルを確立した建築家ジェフリー・パワの作品が集中するのもこの地域で、ベントタでは彼のお気に入りの別荘である「ルヌガンガ」が一般公開されている。

さらに、この地域では11月～4月にかけてが乾季のベストシーズンとなり照りつける太陽と穏やかな海を求めてビーチコマーが押し寄せる。

丁度同じ時期、ゴールより少し先のミリスサ沖ではシロナガスクジラがこの海域にやってくるのがわかり近年、ホエールウォッチングも盛ん。

さらに東へ進むとタンガッラに至り、ラグジャリーリゾート「アナンタラ・ピース・ヘブン・タンガッラ」が見えてくる。ここを拠点にすると、北に広がるウダワラウェ国立公園でのサファリ、或いは東へ足を延ばしてヤーラ国立公園などスリランカの奥深い自然に触れることができるだろう。